

京都私立病院協会主催 京都私立病院協会創立 60 周年記念 京都府知事杯争奪 第 43 回病院対抗バレーボール大会

宇治徳洲会病院チームが 10 回目の優勝！！ 準優勝は京都岡本記念病院チーム

会員病院 19 チームによる令和 6 年度の第 43 回病院対抗バレーボール大会は、7 月 21 日（京都府立山城総合運動公園（太陽が丘）体育館）の予選大会を経て、9 月 23 日にかたおかアリーナ京都（京都市体育館）で決勝大会を開催しました。

決勝大会では、予選を勝ち上がった 12 チームにより 11 試合が行われ、大いに盛り上がりました。コロナ禍以降、5 年ぶりの開催でしたが、どのチームも戦略を練り試合に臨み、今大会で初めてベスト 8 に進出したチームもありました。初戦から熱い戦いが繰り広げられ、決勝戦では接戦を制し勝ち進んだ、宇治徳洲会病院と京都岡本記念病院が対決をしました。

両チームによる決勝戦は、点数が入るたびに歓喜の声が上がる白熱した試合となった中、今大会は、宇治徳洲会病院が 10 回目の優勝を果たしました。

試合終了後の表彰式では、優勝した宇治徳洲会病院チームには京都府知事杯と優勝旗が授与され、各チームに表彰状やトロフィーのほか、今大会の協賛企業の株式会社セレマよりセレマ杯（カップ）と副賞の記念品が贈られました。

今大会の最優秀選手には、宇治徳洲会病院より中坊美乃里選手が選ばれ、楯と記念品が贈られました。最後に当協会の真鍋由美副会長（八幡中央病院理事長）の閉会の挨拶で第 43 回大会の幕が閉じました。



京都私立病院協会創立 60 周年記念 京都府知事杯争奪 第 43 回病院対抗バレーボール大会 総評

実行委員長 安東 寧浩

京都私立病院協会創立 60 周年記念 京都府知事杯争奪 第 43 回病院対抗バレーボール大会が 2019 年以来 5 年ぶりに開催されました。

7 月 21 日（日）に京都府立山城総合運動公園（太陽が丘）体育館にて予選大会、9 月 23 日（月・祝）にかたおかアリーナ京都（京都市体育館）にて決勝大会が行われ、パリ五輪にも負けない？熱戦が繰り広げられました。

結果については、優勝が宇治徳洲会病院、準優勝が京都岡本記念病院となり、大会は幕を閉じました。

優勝した宇治徳洲会病院チームおめでとうございます。そして、残念ながら優勝に届かなかったチームも次回は非リベンジをして頂きたいと思います。

さて、冒頭にも書いた通り今回 5 年ぶりの大会開催でしたが、この間選手はもとより、各施設の皆様は大変な日々を過ごされたと思います。ようやく以前のような生活が戻ってきましたが、決して以前と同じではありません。仕事の在り方、生活の在り方、そして人とのかわり方は大きく変わってきたと感じます。今回参加チームは 19 チームで、おそらく大会開催初期を除けば最も少なかったと思います。これは COVID-19 だけの影響ではなく、いろいろな要因があると思います。今大会は会員施設職員の交流を大きな目的として開催されていますが、それだけではなくチームを構成する同施設内の職員の交流・団結にも大きく寄与していると思います。日々の仕事・生活の中でバレーボールの練習に時間を割くのは難しいことと思いますが、次回大会にはより多くの施設に参加いただけることを期待しています。

最後に大会開催にご尽力いただいた関係各位、実行委員の皆様、協賛いただいた株式会社セレマ様に感謝の意を示し総評とさせていただきます。ありがとうございました。

「第 43 回病院対抗バレーボール大会で優勝して」

宇治徳洲会病院 安東 寧浩

先日開催された第 43 回病院対抗バレーボール大会にて、当院宇治徳洲会病院バレー部は 10 度目の優勝を飾ることができました。今回は私立病院協会創立 60 周年記念大会ということで、喜びもひとしおでした。

皆様もそうであるように、久しぶりの大会で、5 年という月日は周囲を取り巻く環境を大きく変化させました。今回主要メンバーとしてコートに立った選手で、過去に大会に参加したことがあるのは二人だけでした。ベンチにいたのが以前主戦を担っていたメンバーです。

優勝が決まった瞬間、笑顔と一緒に涙もありました。それはその瞬間の喜びだけではなく、思いがあります。過ぎていく時間の中で、変化していく環境と自分、制約されている中でチームを存続させ、それぞれ役割も世代も違うメンバー同士が、チームにける思いは違ってもバレーボールに対する同じ思いを持って目標に向かって戦い、そして最大の成果を得た、その思いすべてが詰まったものであったように思います。初めて優勝を経験したメンバーは当然ですが、ベンチにいたメンバーが皆『今回の優勝は今までの中で一番楽しかった』と口にしていたのが印象的です。

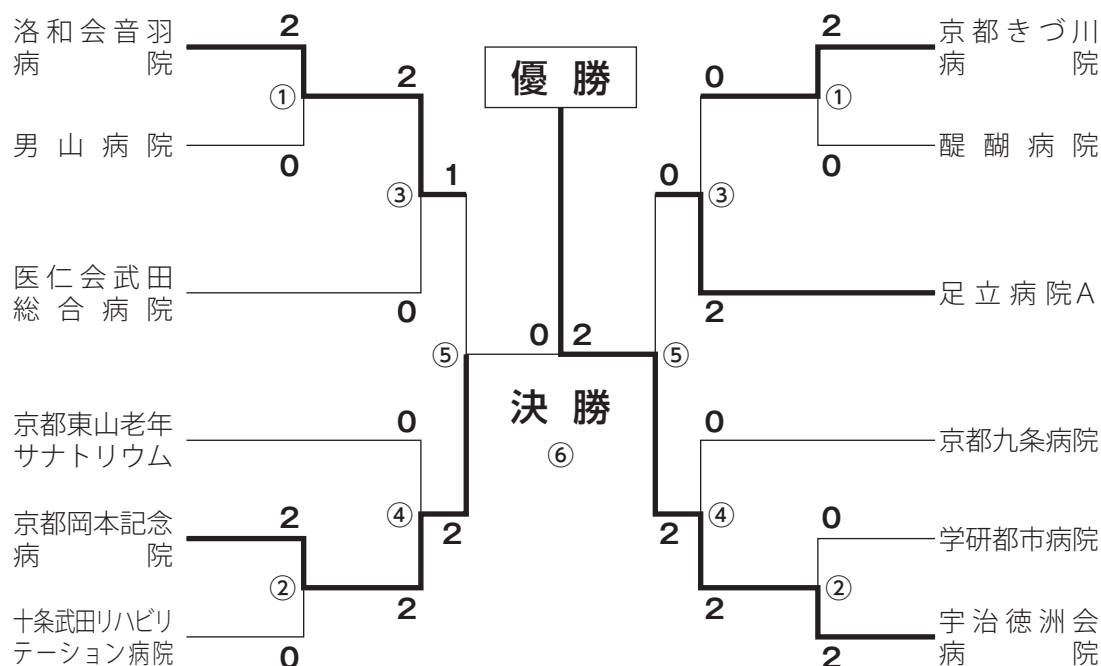
このチームはまだまだ強くなるように思います。来年、連覇に向けてこれからも頑張っていくと思います。監督という名前だけで何もできないのですが、それでもこのチームを見守っていけたらと思います。

最後に大会開催にご尽力いただいた関係者各位及び協賛企業の株式会社セレマ様、本当にありがとうございました。

第43回病院対抗バレーボール大会 決勝大会〔9月23日（月・祝）〕対戦表

Aコート

Bコート



- 優勝 宇治徳洲会病院
- 準優勝 京都岡本記念病院
- 第3位 足立病院A
- 第3位 洛和会音羽病院
- ☆最優秀選手 宇治徳洲会病院 中坊美乃里 選手



優勝 宇治徳洲会病院



準優勝 京都岡本記念病院

第 43 回病院対抗バレーボール大会 決勝大会〔9/23〕の結果（詳細）

Aコート

A－1	洛和会音羽病院	2－0（15－4，15－11）	男山病院
A－2	京都岡本記念病院	2－0（15－4，15－10）	十条武田リハビリテーション病院
A－3	洛和会音羽病院	2－0（15－13，15－7）	医仁会武田総合病院
A－4	京都東山老年サナトリウム	0－2（4－15，12－15）	京都岡本記念病院
A－5 準決勝	洛和会音羽病院	1－2（24－22，14－21，12－15）	京都岡本記念病院
A－6 決勝	宇治徳洲会病院	2－0（21－19，21－15）	京都岡本記念病院

Bコート

B－1	京都きつ川病院	2－0（15－6，15－7）	醍醐病院
B－2	学研都市病院	0－2（7－15，10－15）	宇治徳洲会病院
B－3	京都きつ川病院	0－2（13－15，14－16）	足立病院 A
B－4	京都九条病院	0－2（17－19，9－15）	宇治徳洲会病院
B－5 準決勝	足立病院 A	0－2（8－21，18－21）	宇治徳洲会病院